

質問日	令和2年9月30日(水)		質問方式	分割方式			
質問順位	5	会派名	党派を超える会	議席番号	12	氏名	鈴木 唯記子
表 題	質 問 内 容					答弁者の職名	
<p>1 新型コロナウイルス感染症の影響について</p> <p>(1) 今後の財政運営について</p> <p>(2) 保健所浜北支所業務の移管について</p> <p>(3) 感染防止対策のためのマニュアル化に向けた専用チェックリストの見直しについて</p>	<p>国内初の感染者が確認され約8か月が経過した。新しい生活様式が浸透し、様々な場面で見直しが求められていると感じる。そこで、以下3点伺う。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症による財政運営への影響として、今後の市民サービスや公共事業などの見直しについて考えを伺う。</p> <p>(2) 天竜区にある犬猫の保護施設は、せっかく設備が整っているにもかかわらず、有効に活用されていないように思われる。また、所管の保健所浜北支所は、新型コロナウイルス感染症の対応に追われており、管理体制と業務の見直しを図るべきではと考える。そこで、現在、保健所浜北支所が所管している保護施設を動物愛護教育センターに移管すれば、保健所の負担が軽減されるとともに、保護施設の有効活用につながると考えるがどうか伺う。</p> <p>(3) 本市の中心市街地飲食店で7月に発生したクラスタの影響は大きく、客足がなかなか戻らない状況が続く、経営を維持していくことが困難だという声を聞いている。そのような中、本市では飲食店認証制度を創設し、認証を取得した店を増やすことで、客足の回復に努めている。</p> <p>その一方で、認証制度の対象外となっている風営法に基づく接待を伴う飲食店では、市が用意した専用のチェックリストを活用し、感染症対策に積極的に取り組んでいるが、チェック項目の一部に業務実態にそぐわないものが含まれており、対応に苦慮しているとも聞いている。チェック項目を継続して守ってもらうためにも、それぞれの店に合うマニュアルを作成してもらうことを目標とし、まずは基になる専用チェックリストを見直すべきと考えるがどうか伺う。</p>					<p>森本財務部長</p> <p>西原保健所長</p> <p>石坂観光・ブランド振興担当部長</p>	
<p>2 事前復興の視点からの防災対策について</p>	<p>近年の災害は被害が大きくその影響が広範囲にわたっているため、被害軽減を踏まえた総合的な対策が重要だと考える。そこで、事前復興の視点からの防災対策の推進について伺う。</p>					<p>小松危機管理監</p>	
<p>3 地形から見た中心市街地におけるウォークアブル推進事業について</p>	<p>本市は、道と街の在り方自体が文化財と言えるほど、昔からの地形が変わらず現在に残っており、多くのことを私たちに教えてくれている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で中心市街地の歩行者数は大幅に減少しているが、来訪者に歩いてもらう</p>					<p>藤野産業部長</p>	

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>動線づくりをするべきと考える。浜松駅周辺を浜松駅から浜松城までの観光客向けの歴史ゾーンである西エリアと、駅から東の市民向けウェルネスゾーンである東エリアの2つに分けて歩いてもらうよう、動線をつくったかどうかと考える。そこで、本市は「ウォーカブル推進都市」に賛同しているが、事業の内容と今後の活用について伺う。</p>	
<p>4 今後のごみ減量の推進について</p>	<p>本市の家庭ごみ排出量は年々、微減傾向にあるものの大幅な削減には至っておらず、平成30年度には台風24号の影響で増加し、また今年度はコロナ禍で家庭にいる時間が多いことから大幅な増加が予想される。現在、浜松市環境審議会で家庭ごみの有料化も審議されており、今後のごみ減量について転換期を迎えていると感じている。そこで、以下2点伺う。</p> <p>(1) 小学校に配付している副読本「ごみとわたしたち」や夏休みの課題の「こどもモッタイナイ大作戦」では、アジアゾウやおにぎりといった身近に感じられる表現が使われ、工夫されている。子供だけでなく市民一人一人がごみ減量に対する意識を高め、自分事として考えてもらえるよう、広く、そして分かりやすく情報発信をしていくべきと考えるがどうか伺う。</p> <p>(2) 高齢者世帯や単身世帯が増えてきている現状を受け、現在の市指定ごみ袋のサイズに加え、市民が少量のごみでも使いやすい小容量の指定ごみ袋を新たに設定すべきと考えるがどうか伺う。</p>	<p>影山環境部長</p>